

## 公開文書

令和 2年 6月 24日

(臨床研究に関する公開情報)

水戸医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご理解できない場合など、お問い合わせがございましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

**【研究課題名】**  
中等から重症外傷疾患に対する病院生存退院後の24ヶ月長期予後（自然史,QOL,社会復帰）の追跡および電子媒体による長期予後取得；パイロット研究

**【研究責任者】**  
水戸医療センター 救急科 土谷飛鳥

**【研究の背景】**  
外傷（不慮の事故）は平成30年の死因第6位であり、子供や若年層の死因の第1位、2位を占め、社会的損失の大きい健康問題です。医療や外傷診療システムの進歩により、外傷患者さんの病院内死亡率は年々低下している反面、長期的な後遺症から社会復帰できない、というもう一つの大きな健康問題が生じています。同時に、外傷患者さんの長期予後、すなわち受傷後1～2年後の生活の質（QOL: Quality of life）、どのような経過を辿って回復していくのか（自然史）、社会復帰できる割合などは未だ十分に解明されていません。臨床情報と患者さんの長期予後情報を合わせて検証する事で、患者さん一人一人に合わせた最適な退院後医療を提供することも可能となるかもしれません。特に超高齢社会である日本において、外傷患者さんの長期予後・自然史は社会的にも大きな問題となり、これから高齢化を迎える世界の先駆であるという意味でも重要な課題です。

### 【研究の目的】

中等症や重症外傷の患者さんは、退院後どのように回復して社会復帰していくのか、またその後の生活の質が何によって変わるのかを調査します。

### 【研究の方法】

対象となる患者さん

- 西暦2017年11月1日から西暦2019年10月31日までに、平成29年度NHOネットワーク共同研究、H29-NHO（多施設共同研究）-01の対象となり定期的にQOLアンケートに記載された患者さんのうち、まだ定期的アンケートを取得中の患者さん。
- 利用する情報、カルテ情報、転帰、効用値(EQ-5D-5L)、生活場所、治療頻度、社会（仕事）復帰有無、再入院の有無、電子媒体で上記情報を取得する場合に、最も利用しやすい媒体。これらの項目をご自宅に郵送し、同意書とともに記載して頂くことで本研究に同意して頂いたとします。また当院に定期的に通院されている方は、通院の際にお声がけさせて頂きます。

### ●情報の管理

研究のために集めた情報は、当院の研究責任者が責任をもつて鍵のかかる部屋のインターネット接続可能なパソコンに保存します。漏洩することのないようセキュリティ

を確保します。研究終了後は5年間保存し、保存期間が終了した後に個人を識別できる情報を取り除いた上で廃棄いたします。

[個人情報取扱いの目的] 個人情報を取得し、お名前、住所など、個人を直接特定できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

国立病院機構水戸医療センター 救急科  
土谷飛鳥  
電話番号：029-240-7711